

神奈川県立相模湖交流センター指定管理者候補(案)について

神奈川県立相模湖交流センター指定管理者外部評価委員会 審査結果(指定管理者候補(案))	アクティオ株式会社
--	-----------

1 神奈川県立相模湖交流センター指定管理者外部評価委員会審査結果 <評価点>

団体名(所在地)	選定基準別点数			合計点
	サービスの向上	経費の節減	団体の業務遂行能力	
(株)ギオン(相模原市)	31	14	13	58
(株)東急コミュニティー (東京都世田谷区)	32	10	15	57
アクティオ(株)(東京都目黒区)	39	14	17	<u>70</u>
企業組合労協センター事業団 (東京都豊島区)	31	14	11	56
テルウェル東日本(株) (東京都渋谷区)	34	14	15	63
日本創造企画(株)(東京都千代田区)	30	14	10	54
さがみビルメンテナンス協同組合 (相模原市)	31	18	10	59

<審査講評>

委員 5 名による協議により委員会としての評価を行った結果、全会一致でアクティオ株式会社を最優秀提案者とした。

なお、第 2 位の評価点を得たのはテルウェル東日本株式会社であった。

(アクティオ(株))

優れていると評価した内容は以下のとおりである。

施設の設置目的を十分理解しており、今後の相模湖地域における水源地域の交流や活性化を十分期待できる提案内容であること。

利用者サービスの向上や利用促進のための取組みについて、直ちに実現可能な年間 23 本の自主事業を実施するなど具体的な提案をしているとともに、利用者に親しまれやすい施設を目指す具体性のある提案をしていること。

全国規模で指定管理業務を実施しているほか、神奈川県水道記念館など水関連施設のノウハウを持っていること。

一方、懸念される内容は以下のとおりである。

効率的な業務執行を実施する観点から、現在よりも少ない人員配置を提案していること。

(テルウェル東日本(株))

優れていると評価した内容は以下のとおりである。

利用促進のための取組みについて、施設の設置目的を踏まえた年間 18 本の自主事業を実施するなど具体的な提案をしていること。

グループ企業関連施設を含む類似施設について高い管理運営実績を持っているなど、団体として高い業務遂行能力を有していること。

一方、懸念される内容は以下のとおりである。

施設の維持管理や利用者への対応についての提案内容に、実現可能性に疑問が残るものがあったこと。

2 神奈川県立相模湖交流センター指定管理者外部評価委員会審査結果に対する政策局意見

審査結果について	賛同する ・ 検討の必要有り
<p>神奈川県立相模湖交流センター指定管理者外部評価委員会は、アクティオ株式会社について次の点を高く評価し、最優秀提案者に決定した。政策局としても、高い評価を得た内容、評価点数等の当該審査結果について賛同できるものであり、指定管理者候補としてアクティオ株式会社が最もふさわしいと判断する。</p>	
<p>1 外部評価委員会が高く評価した点について</p> <p>施設の設置目的について理解が深く、今後の相模湖周辺水源地域の交流や活性化に十分期待できる。</p> <p>(政策局の補足)</p> <ul style="list-style-type: none">・アクティオ(株)は「水の循環」に着目し、相模湖交流センターの使命について「地域活性化のハブ機能」と「交流の場としてのコミュニケーションセンター」であると理解しており、その理解に基づいて具体的な運営案を提案している。施設の役割について、アクティオ(株)の理解度は応募7団体の中で群を抜いている。提案にあたり、相当な現地調査をしたものと思料され、熱意が感じられた。 <p>利用者サービスの向上や利用促進のための取組みに関して、具体的に実現可能な多数の自主事業の提案がある。</p> <p>(政策局の補足)</p> <ul style="list-style-type: none">・自主事業の展開は直接の指定管理業務ではないが、地域活性化を推進する上で極めて重要なポイントである。アクティオ(株)は23本の自主事業を提案しているが、その多くについて実際に演目を決め、出演者への打診まで行うなど具体的説明があり、料金設定を含めて実現性が極めて高いと思料される。自主事業の本数、内容ともに応募7団体の中でアクティオ(株)の提案が際だっている。 <p>全国規模で指定管理業務を実施しているほか、神奈川県水道記念館など水関連施設の運営ノウハウも持っている。</p> <p>(政策局の補足)</p> <ul style="list-style-type: none">・アクティオ(株)は相模湖交流センターを単館で運営するのではなく、近隣の自社管理施設や本社との連携の中で運営しようとしており、バックアップ体制という点で安心感がある。さらに、「(株)TB法人東京との協力体制をとる」ことを明記し、強調しており、これにより運営の安定性の向上、地域活性化の促進について大いに期待が持てる。	

2 外部評価委員会が懸念した点について

効率的な業務執行を実施する観点から、現在よりも少ない人員配置を提案している。

(政策局の補足)

- ・アクティオ㈱は現在の8名体制よりも1名少ない7名体制での運営を提案していることから、外部評価委員会で若干の懸念が示された。しかし、前述のようにアクティオ㈱が手厚いバックアップ体制を敷いていることから、現在の運営に劣る、あるいは運営に支障が出るという懸念はほとんどないと考えられる。

3 提案金額から見た選定の妥当性について

外部評価委員会では、最も低い金額を提示したさがみビルメンテナンス協同組合ではなく、5番目に低い金額を提示したアクティオ㈱を最優秀提案者とした。

相模湖交流センターは、貸し館としての文化施設ではなく水源地域の活性化を使命とした施設であることから、運営費の金額だけではなく運営の内容にも重きを置いた選定基準を設定している。そのため、総合点が最も高いアクティオ㈱が選定されたことは妥当であると考ええる。

最も低い金額を提示したさがみビルメンテナンス協同組合は、施設管理に関するノウハウは有しているものの施設運営に関するノウハウの蓄積が少なく、過去の事業実績から考えられる。また、提案金額の2番目から5番目までは100万円以内の違いであり、ほとんど差がなかった。